

19年度一般会計補正予算に対する質疑

福田千富美

Q 住宅新築資金等貸付事業で返済はあと何人残っているのか。また、返済についての取り組み状況はどうなっているのか。

A 人権政策室長 十四人二十件が残っており、次の五点について取り組みながら返済に努力している。

- 地区役員の方を交えて償還対策委員会を年二回程度開催し現況説明等を行っている。
- 担当者による戸別訪問
- 督促状、納付書の送付
- 徴税対策調整会議で、他の資金と合わせて情報交換しながら回収に努める。

● 西部地区担当課長や県の会議で情報交換しながら弁護士を交えて検討会をしている。

Q 中山間地直接支払いで対象外農地分の交付金の返還状況と二十一年度

で終わるこの事業に対する町長の考えはどうか。

A 町長 本来対象外があれば全額返還であるが見直しのなかで一部の返還だけで済んだ。農地や水路の維持、集落の活動に有効に活用されている

ので機会をとらえて継続の要請をしていきたい。

Q 学校教育検討会の委員に大学教授が入っているが、委員の構成と諮問内容について伺う。

A 教育長 PTA役員にも入って頂き、施設整備を含め少子化のなかで学校教育をどう進めていくべきか十分検討して頂き教育委員会としての考えをまとめたい。

大江昇

Q 小学校英語活動推進事業を八郷小学校で実施することになったが他の四小学校に対してはどのような指導をされたのか。

A 教育長 各校からの申し出があったときに断ったという事ではない。各小学校とも総合学習の時間で英語活動に取り組んでおり中学校のALT（英語指導助手）を派遣している。

Q コミュニティー事業（可搬式ポンプ）補助金百五十万円について集落への補助率はどうのように考えているか。

A 町長 宝くじの利便な助成制度があったので町の負担が少なくてすんだ。

細田 栄

Q 徴税費の人員費が二千三百万円増額されている。何人増員し、徴収目標額はいくらか。

A 自治振興課長 滞納徴収プロジェクトの二人分が主なものである。

A 副町長 主として県外者の滞納額がどの程度か内容の検討をすすめており、今年度どの程度徴収可能か、見直しを立ててもらおう段階であり、目標金額の設定はしていない。

影山 辰雄

Q 自治活動交付金の検討委員会に報償費を出して検討する事は、交付金をへらすという町の姿勢が透けて見えるが、自治活動の萎縮につながるのではないか。

A 町長 現在は合併協議の調整項目に基づいて交付しているが、新町になって二年も経過したので交付金のありかたについて検討頂き、町が一方的に決めるのではなく区長協議会・部落代表者の合意を得て取組みたい。

Q 管理職が六人増え、手当も二百九十九万円増加しており、町長のめざす簡素な組織とは逆行しているのではないか。

A 町長 行財政改革と組織の刷新という目標で見直しを行い参事監、参事体制を作った。早期退職者を含めた全体での給与費は削減されている。組織の見直しについては、組織の見直しに趣旨に沿った体制ができたと考えている。

大森 英一

Q 農業委員会の予算が減っているようだが、中山間地対策・荒廃地対策に支障はないか。

A 町長 農業委員会と産業振興課を同じフロアにして農業の振興をはかっている。又、農業委員会の事業に支障をきたさないような組織上の運営を行っている。



西部操法大会

人の動き



教育委員任命

新任

圓山 湧一

任期 平成十九年七月一日〜

平成二十年二月十七日

退任 妹尾 千秋 教育長